

  <p>世界へのプレゼントになろう</p> <p>RI会長 K. R. ラビンドラン</p>	<div style="text-align: right;">2015-2016年</div> <h2 style="text-align: center;">海南東ロータリークラブ</h2> <h1 style="text-align: center; color: yellow;">ROTARY CLUB OF KAINAN EAST</h1> <p style="text-align: center;">会長 阪口 洋一 幹事 横出 廣 SAA: 千賀 知起</p>
---	---

第 1871 回例会

平成 28 年 4 月 17 日(日)

家族例会(九度山・高野山方面)

1. 開会点鐘

2. ロータリーソング 「それでこそロータリー」

3. 出席報告

会員総数 48 名 出席者数 43 名(会員 35 名)
出席率 72.92 % 前回修正出席率 64.02 %

4. 会長スピーチ



会長 阪口 洋一 君
皆さん、こんにちは。本日は恒例の家族例会です。多くの会員の方とご家族の皆様のご出席ありがとうございます。
午前中は生憎の雨でしたが、ここ高野山に来てからは暑いぐらいの晴天になりました。ここ高野山の本覚院で例会をさせていただくことは誠に貴重な経験でございます。食後は金剛峰寺で法話をお聞きし、お寺の内部をご案内していただく予定です。

さて、14日から16日にかけて九州の熊本県・大分県で大きな地震が発生し多くの方が亡くなられたり、負傷されたり、建物の崩壊・山崩れ・道路の寸断等甚大な被害が発生しております。被害がこれ以上大きくならないことを願うばかりです。心よりお見舞い申し上げます。地震国の日本ではいつどこで大きな地震が起きても不思議ではないですし、和歌山では近い将来大きな地震に見舞われる可能性があるといわれております。私たちは常にそのための準備をしておかなければならないと思います。

本日の家族例会の準備をしていただきました親睦活動委員長の前田克仁さんはじめ、親睦活動委員会の皆様ありがとうございます。美味し精進料理をいただき、下界の生活で疲れた心と身体を聖地高野山で癒してお帰りいただきたいと思います。ありがとうございました。

4月は母子の健康月間です

5. 幹事報告

幹事 横出 廣 君

○休会のお知らせ

和歌山東RC 4月28日(木)

6. 家族例会行程

8:30 海南商工会議所出発
9:30 道の駅「柿の郷くどやま」着
「真田ミュージアム」
11:30 道の駅「柿の郷くどやま」出発
12:30 「本覚院」着 昼食(精進料理)
14:00 「金剛峯寺」法話・見学
15:00 「数珠屋四郎兵衛」
15:30 金剛峯寺駐車場出発
17:00 海南商工会議所着



7. 金剛峰寺での法話

「お大師さまの光明(ひかり)に導かれて」

教育部次長 橋本 真人 様

数年前の11月末、本山高教師の任務として金剛峯寺新別殿で駐在布教をさせて頂いている時のことです。晩秋の祖山は夕刻4時頃には辺り一帯



四つのテスト 言行はこれにてしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長 阪口 洋一 幹事 横出 廣 SAA: 千賀 知起

<http://www.kainaneast-rc.jp>

E-mail : info@kainaneast-rc.jp

命を救うきれいな水を

世界には、きれいな水を利用できない人が7億4800万人、汚染水による下痢性疾患で命を落とす子どもがでは、汚染水により命を落とす子どもが後を絶ちません。きれいな水は人間が健康に暮らすための第一条件。毎年250万人の命を救うため、ロータリーはきれいな水の提供に力を注いでいます。

このような現状を受け、ロータリーは世界各地できれいな水をもたらすための多くのプロジェクトを実施しています。例えばガーナでは、ロータリーの補助



金を活用し、会員が複数の村に20以上の井戸を設置したほか、30の井戸を修復しました。さらに、治療しなければ障害や死にいたる伝染病、ブルーリ潰瘍に関する教育と治

療も行っています。この活動で、7万人近い人びとが恩恵を受けています。

年次基金とシェア

ロータリークラブは、世界中の地域社会で、平和の推進、水と衛生の改善、教育の支援、地元経済の促進、母子の健康改善、疾病の治療・予防といった活動にあたっています。このようなクラブの取り組みを支えているのが、年次基金へのご寄付です。

・シェアとDDF

ロータリー財団へのご寄付は、シェアシステムと呼ばれる仕組みを通じて、人道的プロジェクト、奨学金、職業研修チームの活動を支える補助金に生まれ変わります。地区内のクラブからの年次基金へのご寄付は、ロータリー年度末に、国際財団活動資金とDDF（地区財団活動資金）に分けられます。

地区は、寄付の3年後にこのDDFをクラブや地区、または財団のプロジェクトのために活用できます。DDFの半分までを地区補助金として使用でき、残りをグローバル補助金の申請、ポリオプラスやロータリー平和センターの支援、ほかの地区への寄贈のために使うことができます。

・国際財団活動資金（WF=World Fund）

世界の最優先課題に取り組む活動に資金を提供するものです。シェアシステムを通じたご寄付の50%がWFとなりますが、ご寄付すべてをWFに指定することも可能です。WFはロータリー財団が管理し、全ロータリー地区が申請できる補助金やプログラムの資金として活用されます。

・定期寄付

クレジットカードによる自動定期寄付では、寄付の頻度（毎月、四半期、毎年）と金額を自由に設定できます。定期寄付を利用すれば、財団の取り組みの主な資金源となる年次基金を、継続的に支援することができます。

がうす暗くなり、宿所の大師教会に戻ろうとした時、一組のカップルがお参りになりました。男性は日本人、女性は頭からスカーフをまとい、お聞きいたしますと、中東サウジアラビアの方とのこと。「今から高野山の有り難いところにお参りをしたいのですが」とのお尋ねに、私は「ぜひ弘法大師さまの御廟にご参拝下さい」と申し上げ、お見送りをいたしました。

その別れ際の後姿に暗い影を感じたのも事実です。明朝、大師教会で朝食を頂いていますと、「お客様です…」との声に玄関に出向きますと、そのカップルが立っています。私の姿を見るや否や、お二人が「生命（いのち）を救って頂き、ありがとうございました」と両手を強くにぎりしめられたのです。

応接でお話を伺うと、男性は石油会社にお勤めでサウジアラビアへ赴任中、その女性と恋に落ち、遠距離恋愛の末に結婚を誓いあったものの、男性の両親に猛反対され駆け落ち同然に家を飛び出し、行き着いたのが高野山とのことでした。

さらに「どうせ死ぬのなら、最後に有り難いところにお参りしてから車に積んできたガスボンベである世に…とっていました」「でも奥之院で黄色の法衣を着けたお坊さんに出会い親切に御廟までご案内くださったのです」と。二人はお参りをすませ、ふと御廟の方を振り向き、暗がりには千もの灯籠輝きを見た瞬間、「闇の中に光明（ひかり）がある…今はどん底でも生きておればきっといいことがある」と、味わったことのない心境になったと言います。

救われた気持ちで駐車場まで戻りますと、片づけをしていた写真店の方に声を掛けられ、ご紹介頂いた宿坊で一夜を過ごされたとのことでした。「温かいふとんで休ませて頂き、改めて二人で生きていくことを決めました。もう二度とこのようなことはいたしません」と深々と頭を下げられたのです。この時、お二人の後姿に暗い影は消えていました。

高野山大学の学生時代に「除暗遍明」（「大日経疏」）というお言葉を教えて頂いたことを思い出します。大日如来様の功德は私たちの心の闇を除き、遍く智慧の光明をお与え下さるという意味です。若いお二人の行く末に大切なものは、「いのち」そのものです。「いのち」あっての人生です。それに気づかせて下さった奥之院の灯籠の耀きは、お大師さまのお救いの光明そのものでしょう。学び多き出会いを頂きました。それ以来、「どこにお参りをすれば…」とのお尋ねに、かならず「弘法大師さまの御廟です」とお答えしています。

8. 閉会点鐘

次回例会

第1872回 平成28年4月25日(月)

12:30～ 海南商工会議所4F

会員卓話

PETS 報告

会長エレクト 上野山 雅也 君